

# 三段階に分けて実施

## 病診 水俣病 検査 一斉 県の 来月中にアンケート調査

県の井公害課長は、二十日の県議会厚生委員会（菅真弘委員長）で、近く県が実施する水俣病の一斉検査（健康審査）について検査方法などを明らかにした。これは熊大第二次水俣病研究班の対象よりも広範囲のものである。県は九月補正予算に住民健康審査費として七百四十三万六千円を計上、開会中の九月定例県議会に提案している。井課長はこの内容について説明したもので、それによると検査は、第一次アンケート調査、第二次問診、聴・打診検査、第三次精密検査の三段階に分けるが、本年度は一、二次調査を実施する。調査地域は水俣、田浦、芦北、津奈木、御所浦、竜ヶ岳の一市五町で、住民九万五千人の六〇軒を調査する。このうち七千三百二十九人の漁民については、管内保健所の保健婦を動員、聞き取り調査をする。アンケート調査は十月中に完了させ、来年二月ごろ第二次調査に入る方針である。